熊本市立植木北中学校学校だより　第２４号

日　進　月　歩

令和７年 10 月 24 日（金）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

最後の舞台に向けて
～植木北中学校和太鼓部～

明後日、10月26日（日）に熊本県立劇場で「第28回　日本太鼓ジュニアコンクール　熊本県大会」が開かれます。本校からは、17名の生徒が**「植木北中学校太鼓部」**と**「和太鼓 HANASAKUMURA」**の2つの団体で出場します。この大会は、和太鼓部の生徒たちにとって、これまでの活動の集大成となる大切な舞台です。そこで、3年生の部員8名に、これまでの活動の振り返りや大会への意気込みを聞きました。

【これまでの活動を振り返って】

- 3年間はあっという間でした。つらいこともあったけれど、楽しい時間が多くて、充実した日々でした。
- 最初はやる気が出ず、練習をさぼってしまうこともあったが、コンクールに出られなかった悔しさをきっかけに、真剣に練習に取り組むようになりました。
- 3年生になってからは、周りに褒めてもらえることが増えて、自信もついてきました。太鼓部に入って本当によかったです。
- 8人の3年生は、誰一人やめることなく、ずっと力を合わせて頑張ってきました。そのことが何よりも嬉しいです。
- 最初は曲を覚えるのが大変だったけど、だんだん慣れてきて、今では短時間で覚えられるようになりました。たくさんの祭りやイベントに参加できて楽しかったです。
- 和太鼓部の活動を通して、自分から挨拶や行動ができるようになり、顧問の先生やコーチ、練習場所への感謝の気持ちも深まりました。この経験を、これからの生活にも生かしていきたいです。

【コンクールへの意気込み】

- 今年こそ入賞して、九州大会、そして全国大会へ進みたいです。
- 本番は一度きり。悔いのないように全力で挑みます。
- 昨年は「太鼓連合会長賞」をいただきました。今年はその演奏を超えるような演奏を目指します。
- 一打一打を大切に、今までの練習の成果を発揮します。

子どもたちに話を聞いていると、仲間と心をひとつにして、悔いのない演奏を楽しみたいという気持ちが、言葉のひとつひとつから伝わってきました。太鼓の音に込められた思いが、きっと会場に響き渡ることと思います。今回は3年生の皆さんにだけ話を聞きましたが、明後日は1・2年生も「植木北中学校太鼓部」で出場します。和太鼓部の皆さん、悔いなく、力を出し切ってください。

新生徒会スタート

先週、新しい生徒会役員の認証式が行われ、今週から新しい生徒会の活動が始まりました。委員会の初日には、委員長と副委員長が少し緊張した様子で会を進めていました。実際にその立場になり、役割を担ってみることで、これまで活動してきた先輩のすごさを実感しているかもしれません。新しい委員長・副委員にとっては、会の運営、活動の確認等、最初は大変なことも多いと思います。しかし、これまで通りの活動だけにとどまらず、新しいプロジェクトを始めたり、活動の方法を工夫したりすることにも挑戦してほしいです。挑戦すること、そして時には失敗することも、次の活動への大きな力になります。これからの頑張りに期待します。